

農村ツーリズム『農たび・北海道』の取組実績（平成29年度～令和4年度）

農村ツーリズムの取組とは

- 自然と調和した農村景観や暮らしの中での体験や交流、安全な食を求めるグリーン・ツーリズムに対するニーズが高まり、その内容も多様化する一方で、個々の農林漁業者のみでは高齢化や受入負担などの課題もあり必ずしも十分な対応ができませんでした。
そこで、道では平成29年度より、地域で活動する多様な分野の事業者が「食・滞在・体験等」を「地域ぐるみ」で受け入れる新たなグリーン・ツーリズムである「農村ツーリズム（農たび・北海道）」に取り組んでいます。

平成29年度～令和3年度の主な取組実績

(1) 地域支援体制の整備

- 北海道グリーン・ツーリズム推進庁内連絡会議に農泊推進部会を設置
- 関係機関・団体の連携を強化するため「北海道農泊推進ネットワーク会議」設置
⇒ 参画機関：北海道経済連合会、北海道観光振興機構、JA中央会、ホクレン、ぎょれん、森林組合連合会、日本政策金融公庫、北海道グリーンツーリズムネットワーク、北海道農業公社、北海道農業会議、北海道土地改良事業団体連合会、北海道大学、札幌大谷大学、北海道開発局、北海道運輸局、北海道農政事務所、北海道、農泊地域、農泊実施地域

(2) 取組への意識の醸成

- 農泊の認知度向上やレベルアップを図る研修会を開催（道庁主催、農水省共催等）
⇒ H29：2回開催 H30：1回開催 R3：1回開催
- 取組地域の掘り起こしや意識醸成を図るセミナー等を開催（振興局主催等）
⇒ H29：15回開催 H30：32回開催 R1：26回開催 R2：7回開催 R3：6回開催
- 行政職員のスキルアップを図る全道研修会を開催（道庁主催）
⇒ H29：1回開催 H30：1回開催 R1：3回開催 R2：5回開催
- 取組地域のネットワーク化を図る研修会を開催（道庁主催）
⇒ H29：2回開催 H30：2回開催 R1：1回開催 R1：3回開催 R3：1回開催

(3) 地域の構想づくり支援

- 地域の構想づくりを支援する勉強会等を開催（道庁・振興局主催、農水省共催等）
⇒ H29：16回開催 H30：6回開催 R1：43回開催 R2：21回開催 R3：8回開催

(4) 情報発信

- 農村ツーリズムロゴマークによるPR
⇒ 札幌大谷大学とのタイアップ事業により決定
- SNSの活用やPR活動の実施



令和4年度の主な取組実績

(1) 地域支援体制の整備

- 関係機関や農泊地域等の連携を強化するため「北海道農泊推進ネットワーク会議」を開催（道庁主催）
⇒ 1回（札幌市）

(2) 取組への意識の醸成

- 取組地域の掘り起こしや意識醸成を図る意見交換・セミナー等開催（道庁、振興局等主催）
⇒ 1回（経済部）+17回（道庁+振興局）
- 取組地域のネットワーク化を図る研修会を開催（道庁主催）
⇒ 1回（札幌市）
- 行政職員のスキルアップを図る全道研修会を開催（道庁主催）
⇒ 1回（札幌市）

(3) 地域の構想づくり支援

- 地域の構想づくり・レベルアップに向けた関係者との意見交換・セミナー等を開催（道庁、振興局主催等）
⇒ 24回開催

(4) 情報発信

- SNSの活用やPR活動の実施
⇒ パネル展などを実施
- 道内の農泊地域のPR
⇒ 農泊地域を紹介するPRパンフレットを作成し、HPによる情報発信や道の駅等で配布

パネル展の実施(道庁ロビー)

札幌大谷大学美術学科の学生が地域の取組をPRするために考案したコンセプトボードを公開



(5) 人材育成支援

- 都会の若者が「農たび」について考える出前講座・現地講座を開催（札幌大谷大学連携事業）
⇒ 2回開催（札幌市）

農村ツーリズム現地講座(札幌市)

観光農園園主、農園ガイド、ワイナリー代表から、農村ツーリズムを学ぶ高空授業、農業体験を実施



(5) 人材育成支援

- 都会の若者が「農たび」について考える講座を開催（札幌大谷大学連携事業）
 - ・ 大学出前講座（札幌市）
⇒ H30:1回実施 R1:1回実施 R2:1回実施 R3:1回実施
 - ・ 現地講座（栗山町）
⇒ H30:1回実施 R1:1回実施 R2:2回実施
 - ・ パネル展での作品展示（道庁ロビー）
⇒ H30:1回実施 R1:1回実施 R2:1回実施 R3:1回実施
 - ・ 全道研修会への参加（札幌市、実践者との交流等）
⇒ H30:1回実施 R1:1回実施 R3:1回実施

PR活動

ポスター・チラシ、ロゴ入りトートバック・クリアファイルを作成し農たびをPR。（関係機関へポスター、チラシを配布）

